

令和5年度 音更町立下音更中学校経営方針

自然豊かな北の大地で

夢や希望の実現のための挑戦（自立）
心豊かに、ともに支え合う（共生）



管内教育推進の重点

下音更中学校 教育目標

- 自学～自らの創造と工夫を働かせ、問題解決に努力する
- 自省～自分のすること、していることの意味を問い直し、思いやりの心をもって物事に接する温かい心を育てる
- 自存～自ら進んで苦しくともやりぬき、結果に責任をもつ、くじけぬ強い意志を育てる

～めざす学校像～

子どものよさが認められ、夢・志・希望をはぐくむ学校

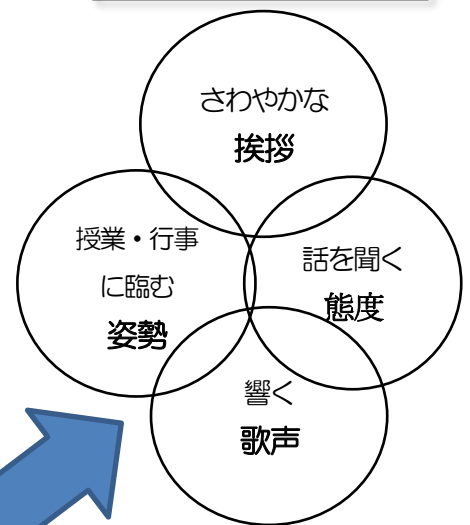
～めざす子ども像(校訓を生かした、めざす生徒)～

- 自主：学習、生活、諸活動等をとおして、自ら進んで行う生徒
協力：学習、生活、諸活動等をとおして、互いに助け合う生徒
責任：学習、生活、諸活動等をとおして、積極的に努める生徒

十勝らしい一人一人の学びの実現

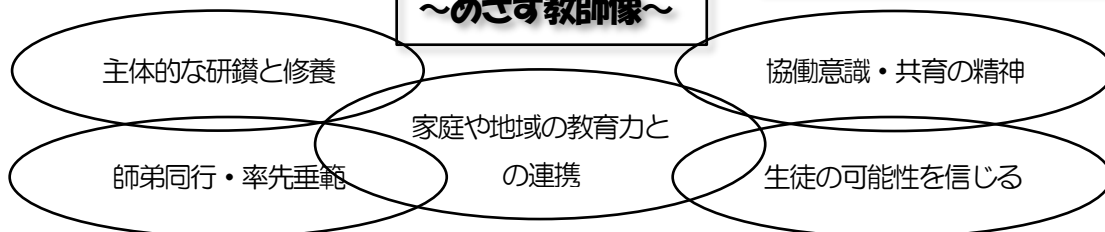
- 社会で生きる力の育成
- 豊かな人間性と健やかな体の育成
- 地域総がかりで学びを支える体制の構築
- 学びをつなぐ学校づくりの実現
- 地域づくりにつながる生涯学習の充実

～本校生徒のよさ～



学力・体力・人間力の向上

～めざす教師像～



令和5年度の重点

○個に応じた指導の充実、協働的な学びの充実から、生徒に「確かな学力」を身につけさせる

※「確かな学力」～知識・技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断して行動し、よりよく問題解決する資質や能力

ICT を効果的に活用も含め、校内研究仮説にも示された「個別最適な学習」を意識した授業づくりから、生徒に「確かな学力」を身につけさせる。この「確かな学力」が生活態度にあらわれ、生徒が生き生きと学ぶ学校にしたい。

○生徒が互いに認め合い、磨き合うことで、教育目標「自存する力」をつちかう

教育目標「自存」～教科指導、生活指導、部活指導など、教職員でおこなうすべての教育活動において、より主体性を持たせて考えさせたり、またそれを表現したりできる生徒を育てていく。結果、生徒に人と人との関係を自ら構築していく力を身につけさせ、互いに高め合うことのできる質の高い学級、学年づくりを目指す。